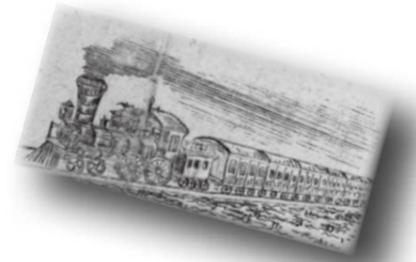


旅行時代の到来!!

- パノラマ地図と近代大衆旅行 -



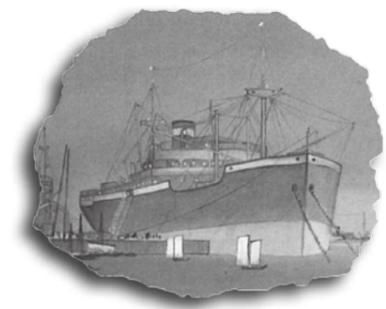
市三日	丁八	魚二	丁二	り川	なぬ	水橋	山富	地分	功念	杉小	六丁
△石つ	△石つ	△木地	△木地	△名鳥	△なべ	△林	△中茶	△高松	△砂川	△小杉	△伏木
△つ	△つ	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋
△つ	△つ	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋
△つ	△つ	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋	△屋

▲一新講社/明治21年(1888)/入善町教育委員会蔵
 旅館組合が発行した加盟旅館などのリスト。滑川の部分には「名物いかの黒付(黒作)あり」と記載されています。



▲二大奇観/明治42年(1877)～昭和8年(1933)/市立博物館・富山県立図書館蔵
 ホタルイカと蟹気楼をほかでは見られない滑川町の奇観として取り上げた観光冊子で、第6版まで発行されました。

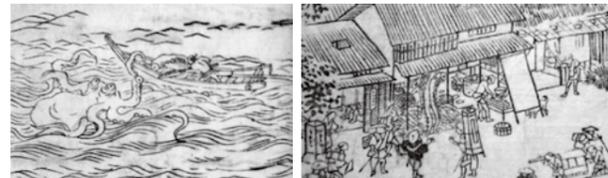
滑川町で見せたいものは、和山の千鳥に雪見の加積、馴れにし船は有磯の海に、数多き米や建細敷多、真帆や片帆の往き来よ小舟、鯛や鯛や千種の肴、料理の味は清水魚屋、海原景色中島良の花湯、神樂太鼓は御神楽、人の寄も逢ふあやめの祭、辛気盛んに胸を痛め、わうとくゝの形代流し、熊谷山の入相鏡に、時を急ぐ杜は加茂宮、夜の鳥賊釣、涼みの波止場、宿はホテルに雲鳥旅館、床し懐し長崎寺に、月を眺めて浮世をかこち、粋も不粋も色香の常盤、泣いて別もよか笑うて待たうか、外にないぞい登の小島殿



▲和田の浦/大正～昭和期/入善町教育委員会蔵
 「和田の千鳥に雪見の加積、馴れにし船は有磯の海に…」と「滑川町で見せたいもの」が、七七調を繰り返す「口説」形式で列挙されています。



▲道中万事控帳/安政6年(1859)/個人蔵
 宮路岩崎村(現・立山町宮路)の若者が江戸方面へ旅した際の支出記録簿。



▲滑川の大蛸(『日本山海名産図会』)/寛政11年(1799)/市立博物館蔵
 人馬を襲う「お化け蛸」が滑川沖にすむという明治時代前半ごろまで全国的に知られていた名物話。大ダコの足を切り落とす漁師と足の大きさを見て驚く旅人が描かれています。

【展示構成と主な出品資料】

序章：江戸時代の庶民の旅

- 浪花講道中記(石川県立図書館蔵)
- 関所過書(朝日町境区蔵)
- 道中小遺留帳(富山市郷土博物館蔵)

1章：近代旅行の到来

- 一新講道中手引草(富山県立図書館蔵)
- 道中日誌(個人蔵)
- 入善旅行会会則(入善町教育委員会蔵)

2章：パノラマ地図で見る富山-鳥瞰図の世界-

- 高岡市を中心とする名所鳥瞰図(個人蔵)
- 東岩瀬町鳥瞰図原画(富山市教育委員会蔵)
- 魚津市鳥瞰図原画(魚津市立図書館蔵)

3章：近代富山名所案内

- 東岩瀬名所絵はがき原画(富山市教育委員会蔵)
- 立山線の朶(個人蔵)
- 富山県関係絵はがき

4章：滑川と観光

- 二大奇観(市立博物館・富山県立図書館蔵)
- 富山県滑川町鳥瞰図絵(市立博物館蔵)
- 滑川町関係絵はがき

終章：新たな旅行時代へ

現在、旅行は人々の生活の中に定着したものとなっていますが、旅へのあこがれは今も昔も変わりません。江戸時代中期ごろから旅の大衆化が進んでいきますが、本展では、全国的な鉄道路線網の拡充によって生まれた大正から昭和初期の旅行ブームを中心に、人々がどのように旅行を楽しんだのかを当時の鳥瞰図・ガイドブック・旅行案内書・絵はがきなどから紹介していくものです。

中でも、大正中中期から昭和前期にかけて、吉田初三郎という人物が生み出した折本形式の鳥瞰図が、全国的な大流行を巻き起こしました。この空を飛ぶ鳥から眺めたような構図の鳥瞰図は、画面両端を極端にU字形に曲げ、大胆なデフォルメ(変形)を施した遊び心溢れる描画を特徴とします。初三郎の富山県関係の作品は全国的に見ても多い方ではありませんが、最大のライバルといわれた金子常光をはじめとする多くの鳥瞰図絵師たちも活躍し、さまざまな鳥瞰図が描かれた時代でした。本展は、多彩な絵師たちによって描かれた富山県関係の鳥瞰図がまとまって展示される初めての機会であり、今までほとんど知られていなかった鳥瞰図だけでなく、貴重な原画も出品します。

本格的な春の行楽シーズン到来前に昔の富山へタイムトリップしてみませんか。



▲東岩瀬町鳥瞰図/昭和11年(1936)/個人蔵
 日満産業大博覧会で配布された鳥瞰図(吉田初三郎画)。



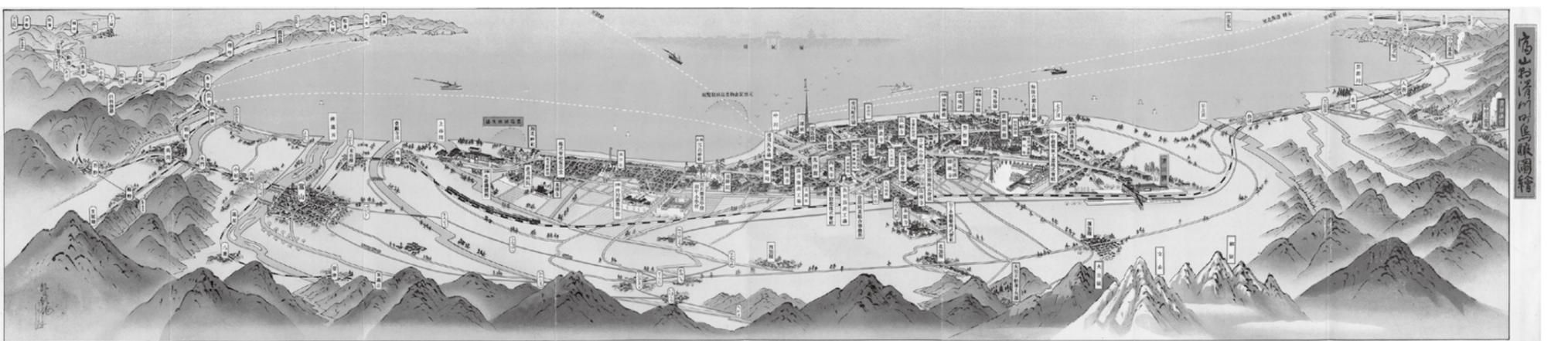
▲富山市を中心とする県下名勝鳥瞰図/昭和7年(1932)/個人蔵
 産業と観光の大博覧会への出品用に作られた鳥瞰図(吉田初三郎画)。



▲伸び行く魚津/昭和11年(1936)/個人蔵
 魚津町のPRのために作られた鳥瞰図(金子常光画)。



▲風光之氷見町鳥瞰図/昭和11年(1936)/個人蔵
 氷見町を中心に描いた鳥瞰図(新美南果画)。



▲富山県滑川町鳥瞰図絵/昭和11年(1936)ごろ/市立博物館蔵
 滑川町が中心に大きく描かれ、滑川沖には蟹気楼や「天然記念物蛸鳥賊観覧場」、高月海岸には「蛸鳥賊地曳場」といった「二大奇観」に関するものも見られます。富山市で開催された日満産業大博覧会の際に制作されたと考えられる鳥瞰図(吉田外二郎画)。

と き 2月18日(土)～3月25日(日) **入場無料**
 10:00～18:00

◆前期展 2月18日(土)～3月6日(火)
 ◆後期展 3月8日(木)～3月25日(日)
 ※毎週月曜日、3月7日(水)は休館日
 ※会期中一部展示替え

ところ 図書館3階 催事室

展示解説会
 ◆前期展 2月19日(日)、3月3日(土)
 ◆後期展 3月11日(日)、3月24日(土)
 ※いずれも14:00～

問合せ先 博物館 ☎474-9200